

飲酒しているとエンジンがかからない / アルコール・インターロック装置

家族や自社から
犯罪者を出さないための

2つの方法



飲酒運転をしているひと、何回も飲酒検知されるひとを、見て見ぬふりしていませんか？

こんな思いをお持ちの方、こんなお立場の方、ご参加ください

- 01 / 実は家族や親族が飲酒運転をしていることに気づいている方
- 02 / 実はプライベートで飲酒運転をしている社員がいることに気づいている方
- 03 / 幾度となくアルコールチェッカーにひっかかる社員がいる企業の管理者の方
- 04 / アルコールインターロックの違反者装着法制化に興味のある方
- 05 / アルコールインターロックの個人の活用方法を知りたい方
- 06 / 将来、飲酒運転根絶の活動をライフワークにしたい方
- 07 / 市議会議員、県議会議員、国会議員、警察庁、法務省等行政関係者

企業の方はもちろん
個人の方、
大歓迎！

セミナー内容

加害者をゼロにする、アルコールインターロックの社会実装

- ・薄れゆく記憶、2000年以降の飲酒運転事故史
- ・アルコール・インターロック装置とはそもそも何なのか？
- ・世界のアルコールインターロック義務化（違反者）事例
- ・日本の違反者講習って、どんな内容なのか？
- ・アルコールインターロック義務化、道路交通法改正案
- ・アルコールインターロック義務化、都道府県条例案
- ・アルコールインターロックのコスト負担の誤解
- ・1万9千人の検挙者は、誰なのか？ 全員初犯か？
- ・企業アプローチでは限界、プライベートの飲酒運転
- ・家族が飲酒運転、誰に相談できるか？
- ・運転免許証の大返納時代、孤立する高齢単身者
- ・個人での装着を推進します！



スピーカー

東海電子株式会社 代表取締役CEO・運輸安全JOURNAL編集長

杉本 哲也

11 / 木
24
13:30 - 14:30

開催方法

ZOOMによるオンライン形式
(30分前よりご参加頂けるよう調整いたします)

申込方法

下記URLまたはQRコードより登録をお願いいたします。
<https://tokai-denshi.satori.site/20221124seminar-omoushikomi>

